

1

【目をあげよ】

G C D7 G
 目をあげよ 王の王に
 G C Am D7
 みまえに拝し歌え
 G C D7 G
 賛美は 主の前に
 G C Am D7 G
 聖なる王の王に 栄光あれ

【花も】

1.
 G C D Em C D G C D
 ここに 泉はわく 涙をすぎるとき
 G C D Em C D Gsus4 G
 やがて 実を結び 笑い声に満ちる

C D G D Em
 花も雲も 風も大海も
 C D G
 奏でよう 奏でよう イエスを
 C D G D Em
 空にひびけ 歌えたまいよ
 C D G
 恵みを 恵みを 恵みを

2.
 G C D Em C D G C D
 あおげ 天は開き 我らは見るだろう
 G C D Em C D Gsus4 G
 やがて 花は咲き 栄光の主が来られる

【川がある】(詩篇46:4)

G D7
 川がある その流れは
 Am D7 G
 いと高さ方の住まい
 G G7 C Cm
 神の都を喜ばせる
 G D7 G
 その流れは賛美の川

5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- コロナ禍からの解放・医療従事者と政治判断のため

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
 「日本にはリバイバルが始まっています」
 「私も用いられます」
 「すべての問題は解決します」
 「することなすこと、みな成功します」
 「私のまわりには奇跡が起こります」
 「すべてのことを感謝します」
 「イエス様と一緒にですから」
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



今を大切に生きるため

3.11を忘れないで

Remember Fukushima

日本画・戸田みどり展

祈りの小径(こみち)

Number: 101 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

詩篇46篇

1 神はわれらの避け所また力である。
悩める時のいと近き助けである。

2 このゆえに、たとい地は変わり、
山は海の真中に移るとも、われらは恐れぬ。

3 たといその水は鳴りとどろき、あわだつとも、
そのさわぎによって山は震え動くとも、

われらは恐れぬ。

〔セラ

4 一つの川がある。

その流れは神の都を喜ばせ、
いと高き者の聖なるすまいを喜ばせる。

5 神がその中におられるので、都はゆるがない。
神は朝はやく、これを助けられる。

6 もろもろの民は騒ぎたち、もろもろの国は揺れ動く、

神がその声を出されると地は溶ける。

7 万軍の主はわれらと共におられる、
ヤコブの神はわれらの避け所である。

〔セラ

8 来て、主のみわざを見よ、

主は驚くべきことを地に行われた。

9 主は地のはてまでも戦いをやめさせ、
弓を折り、やりを断ち、戦車を火で焼かれる。

10「静まって、わたしこそ神であることを知れ。
わたしはもろもろの国民のうちにあがめられ、

全地にあがめられる」。

11 万軍の主はわれらと共におられる、
ヤコブの神はわれらの避け所である。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

みことばの解説



「震災10年メッセージ」羽生結弦

何を言えばいいのか、伝えればいいのか、
わかりません。あの日のことはすぐに思い出せます。この前
の地震でも、思い出しました。10年も経ってしまったのか
という思いと、確かに経ったなという実感があります。

オリンピックというものを通して、フィギュアスケートというも
のを通して、被災地の皆さんとの交流を持てたことも、繋
がりを持てたことも、笑顔や葛藤や苦しみを感ぜられたこ
とも心の中の宝物です。

何ができるんだろう、何をしたらいいんだろう、
何が自分の役割なんだろう。

そんなことを考えると胸が痛くなります。皆さんの力にもな
りたいですけど、あの日から始まった悲しみの日々は一
生消えることはなく、どんな言葉を出していいのか わから
なくなります。

でも、たくさん考えて 気がついたことがあります。この痛
みも、たくさんの方々の中にある傷も、今も消えることな
い 悲しみや苦しきも……それがあるなら、無くなったもの
はないんだなと 思いました。

痛みは、傷を教えてくれるもので傷があるのは、あの日
が在った証明なのだと思えます。あの日以前のすべて
が、在ったことの証だと思えます。

明日、震災11年を迎えるにあたって、昨年ひとり
の若者が語った言葉を残しました。もし「あなた」が
メッセージを残すとしたら何を語るでしょうか。彼が
言うように、いま私たちは「何ができるのでしょうか」
「何をしたらいいのでしょうか」「何が自分の役割なの
でしょうか」…

「3.11を忘れない」…傷も嫌味も喪失も、すべてを
含めて忘れない。覚え続ける。そして静まって主こそ
神であることを知る(詩篇46の10)。そのための日
本画展であり、そのための瀬戸ライフアートスタジオ
です。